

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか	○				<p>・保育参加(参観)の懇談会では、保護者同士が話し合える貴重な時間となっています。子育ての悩みを共有し、つながりが深まることによって、保護者間のより良い関係が築かれています。</p> <p>・つくしっ子広場では、父親の参加もあり、参加者同士が育児に関する悩みを話しあったり、担当職員に相談したりするなどの様子が見られます。</p>
	(2) 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・アレルギー疾患や先天性・慢性疾患等に関しては、保護者と面談し、誤飲誤食に留意し、急な体調の変化に対応できるよう努めています。また、全職員で共通理解できるよう職員会・終礼などで説明しています。</p> <p>・月1回避難訓練を実施しています。災害の種類によって職員は、避難の方法・避難経路を選択し、瞬時の緊急対応を訓練しています。</p> <p>・職種に応じた研修を受講し、専門性を高めています。また、園内研修に全職員が参加し、教育保育内容について話し合い、質の向上に努めています。</p> <p>・職員会にて施設長が、事業計画や理事会・経営会議での決定事項等を職員に話しています。また、主な事業計画は、保護者会総会時に口頭で説明し、具体的にはその都度文書で知らせています。</p> <p>・要望、苦情等に関する相談窓口、第3者委員については重要事項説明書やHPに明記し、玄関ロビーに掲示しています。また、保護者の方には年度初めに全体の場で知らせています。</p> <p>・保護者が相談しやすく、意見を述べやすい環境の整備を心がけていきます。</p> <p>・大和善隣館では、H29年度より「いしかわ魅力ある福祉職場認定制度」を導入しました。法人独自の評価基準から、職員それぞれの役割に必要な役割と責任を明確にし「なりたい自分」をイメージし、見通しを持ってキャリアを積んでいくことで、組織全体の質の向上につなげていけるよう努めています。</p>
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか	○				
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者による評価結果に対するコメント

・今年度「主体的な遊び」を目指し、外部から講師を招聘する等積極的に取り組んだ姿が見られる。子ども達の遊びが継続できるよう行事の精選と同時に行事にも「主体的な遊び」が生かされるように取り組んでいくことが求められる。

・保護者や職員からの意見・要望・相談をしっかりと受け止めようとする園の雰囲気や体制は重要であり、今後も保護者の安心感・信頼感を高めてほしい。

・玄関の環境は、保護者・子どもにとって安らぎと学びの場になっており、豊かな感性を育てている。

・情報誌「ぼかぼかだい」で、法人の保育方針である三つのゼン(安全・自然・積善)の説明を保育の具体的な場面を通して記載しており、地域の方々に分かりやすい内容となっている。

・昨年に比べ、評価結果が分かりやすくなっているが、職員の自己評価でC・Dの評定があれば、さらに活発な意見交換が出来たものと思われる。